

父母連ニュース

草加市保育園父母会連合会 機関紙

2014年度 第1号/2014年6月21日発行

発行責任者：芹澤 945-5178

表面：総会の報告（ご来賓・2014年度父母連事務局役員）／「子ども子育て支援新制度 勉強会」報告
裏面：保育事業説明会報告



5/18(日)「第27回草加市保育園父母連総会」報告

5月18日(日) 10:00~12:00 勤労福祉会館ホールにて、「第29回草加市保育園父母会連合会総会」を開催いたしました。お忙しい中、多くの来賓の方々や、18公立保育園父母会の新旧役員の方など、約100名の方々にご出席いただき、誠にありがとうございました。また、保育士の先生方に保育を行っていただきました。いつも保育を支えていただいていることに、心より感謝申し上げます。

本総会の来賓挨拶では、現在の草加市が抱えている子育てを取り巻く課題等をどのように打開していくか?といったお話や、安心・安全に草加市で子育てしていける条件整備をこれまで以上にすすめていくこと等、示唆に富んだお話しをいただきました。また私たち父母連や各保育園父母会の取組みへの暖かな応援メッセージもたくさんいただきました。お忙しい中ご参加いただきましたご来賓の皆様にご挨拶申し上げます。

私たちはこれらのお話しを伺い「待機児解消を優先としながら公立と私立の認可保育園の保育の質を相互に高め合えるシステム作り」や「多様な保育ニーズに応えながら、これまでの草加の保育実践を維持・向上させていく」ことへの重要性を改めて見つめ直す機会となりました。今後も父母連は、各園父母会の皆様とともに知恵と力を合わせながら、より良い子育て環境作りのために積極的に活動していきたいと考えています。

なお、議事では、2013年度活動総括・報告・決算、2014年度活動方針・予算・新事務局員が無事に承認されましたので、ここにご報告いたします。

＊総会資料は、2013年度の父母連活動や2014年度の方針に関する大切なものです。皆さん是非目を通してください。

<ご来賓>

- 草加市長 代理：子ども未来部副部長 兼 保育課長 浅古 裕康様
- 衆議院議員：黄川田 仁志 様
- 埼玉県議会議員：山川 百合子 様
- 草加市議会議長：新井 貞夫 様
- 草加市議会議員：佐藤憲和 様
- NPO法人草加・元気っ子クラブ代表理事：小池奈津夫 様
- 草加市学童保育の会会長：青木郷子 様
- 草加市職員労働組合保育部会：楠 恭子様
- リーガルサービスセンター：星島様

※なお、草加市長 田中和明様より祝電をいただきました。

ありがとうございました！！

★2014年度父母連事務局新役員★

会 長	芹澤一洋(せざき保)
副会長	高山幸一郎(しんぜん保 OB) (兼任)
	中島幸代(しのは保)
事務局長	浜藪浩美(せざき保 OB)
事務局員	根岸 絵美(しのは保 OB)
会 計	高山幸一郎(しんぜん保 OB) (兼任)
会計監査	段 和志(あずま保 OB)

今年で父母連会長2期目となりました。芹澤一洋(せりざわもとひろ)です。

昨年度は待機児童が劇的に増え、保育園に入ることが出来なかった保護者に皆様が署名を集めて市長に提出しました。私たち父母連も署名に協力致しました。

その甲斐あって、市長は2014年4月からの民間認可保育園1園の開園を決定、さらに、2015年4月にはもう4園追加するという予算案を組んで頂けることとなりました。待機児童解消を本気で解決しようという市の意向が伺えます。

また、2015年4月にスタートする子ども子育て支援新制度に向けた準備や調整、条例案作りも市側で着々と進んでいます。草加の条例がどうなるのかが不安ではありますが、昨日の市長懇談会では市長自ら「草加の保育の質は維持する」と力強くお約束頂きました。子どもの安全が脅かされるような条例になることのないよう、私たちが目を光らせる必要があると感じています。

今年一年よろしくお願い致します。

6/6(金)「子ども子育て支援新制度 勉強会」を開催しました!

来年4月から、今までの保育の制度をがらりと変えた新しい制度が始まります。どのような制度なのか、私たち保護者と子供達にとって良い制度なのか、悪い制度なのか。とにかく難しく分かりづらい制度となっています。

当日は、高橋光幸先生をお呼びし、集まりくださった約70人の方々と一緒に新制度について勉強しました。新制度についての問題点や、私たち保護者が市政に対して行わなければならないことを教わり、私たち一般市民が市へ働きかけることが重要であることを学びました。

どんな制度かの概要は裏ページの保育事業説明会報告の中、4.「子ども子育て支援新制度の概要について」で説明しています。

しかし、これだけでは全てを説明しきれないので、市との条例案についての説明会を兼ねた疑問点を質問できる懇談会を7月上旬に開く予定です。来年4月になってから「こんな制度になるなんて聞いていない」とならないように、一緒に勉強していきましょう。

平成 26 年度保育事業説明会(5 月 12 日 於中央公民館)報告

草加市保育園父母会連合会 会長 芹澤一洋

今年度はほぼ例年通りの 5 月 12 日に保育事業説明会が開催されました。ご参加いただいた各園の代表者・会長のみなさんありがとうございました。今回の報告で全てをお伝えすることはできませんが主な内容を以下にご報告します。なお当日の保育は園長先生方が担当してくださいました。ありがとうございました。

**<参加者> 草加市：橋本こども未来部長、浅古こども未来部副部長兼保育課長
父母連：父母連事務局・各父母会役員を中心に約 30 名。**

1. 平成 25 年度に開園した民間認可保育園について

①社会福祉法人わかば会 にじいろ保育園（八幡町 336-1）。定員 90 名、保育時間 7：00～20：00（18：00 以降は延長保育）

※詳しくは、草加市ホームページ、にじいろ保育園ホームページを参照のこと。

2. 新たな民間認可保育所の整備予定について

開設予定時期は 2015 年 4 月 1 日。開設数は 4 園、総定員 330 名。開設予定地は、①松原団地駅北側地域 ②松原団地駅南西側地域 ③青柳地域 ④募集中（地域未定）

施設整備補助金予算額が約 4 億 2 千万円、そのうち国や県からの補助金が 9/10 出るので、市負担分は約 4700 万円とのことでした。民間認可保育園を設置する場合、多額の補助金が国・県から出るのにもかかわらず、公立保育園は全額市の負担となるそうです。既存施設の補修改修も全額市の負担となるようです。

なお、2010・2011 年度に設置された園が市南部のため、今回は北部を重点的に開設予定とのことでした。

3. 公立保育園の耐震化対策について

小学校の耐震工事が終わったことに伴い、公立保育園の耐震工事、および工事のための耐震診断を順次進めていくとのお話がありました。昨年度は、あさひ、やなぎしま、しのはに対して耐震診断が行われました。

今年度は、しんぜん、こやま、やつかかみに対して耐震診断を行う予定だそうです。あさひ、やなぎしまについて耐震補強工事の設計を業者に委託する予算が確保できたとのことでした。

小学校と違い、保育園には長期休暇期間がないので、工事の間どのように保育が実施されるのかは未定とのことですが、園児の安全は確保することをお約束していただきました。

4. 子ども子育て支援新制度の概要について

来年 4 月から『子ども子育て支援新制度』という今までの保育の制度をがらりと変えた新しい制度が始まります。この制度についての概要説明がありました。

①草加市子ども子育て会議を設置済み。事業計画を策定。

③教育・保育、子育て支援等のニーズ調査

④新制度のポイント（学習会で学んだ内容を織り込んでいます）

- ・認定こども園の普及
- ・地域型保育事業（小規模保育事業・0～2 歳）の新設
 - A 型（分園・保育士 100%配置義務）
 - B 型（無認可保育施設・保育士 50%配置義務）
 - C 型（グループ型家庭的保育・保育士設置義務無し） - 保育士が 0 人でも可！
- ・「施設への補助」から「利用者への給付」への変更
 - 株式会社や認可外保育施設にも事実上、補助金が支給出来るようになる。
- ・給付を支給するための認定制度の導入。（保育園等の施設利用には『保育の必要性』の認定証が必要。）
 - 1 号認定（3 歳以上の教育標準時間・幼稚園）
 - 2 号認定（3 歳以上の保育利用児・保育園）
 - 3 号認定（3 歳未満の保育利用児・保育園）
 - 保育時間は、短時間、長時間で認定されることになります。

などが制度の概要です。

草加市では現在条例案作成の最中で、どのような制度になるかは未定であるが、現状の保育制度を維持していく予定とのお話がありました。（認定こども園への変換や地域型保育事業の設置予定なし。）9 月の定例議会で条例が採択される予定です。

※難しい制度ですので、理解を深めるために随時勉強会等を開催しています。